

みゆき商店街活性化計画

目次

1. みゆき商店街振興組合の現況と課題	1
1) みゆき商店街振興組合の現況	1
2) みゆき商店街の特徴と課題	3
3) みゆき商店街に対する住民、利用者のニーズなど	4
4) みゆき商店街の主な課題	6
2. 活性化の基本方針及び具体的事業	7
3. 事業プログラム及び成果指標	12
4. 推進体制	13

平成 21 年 5 月
みゆき商店街振興組合

1. みゆき商店街の現況と課題

1) みゆき商店街振興組合の現況

みゆき商店街は、愛知環状鉄道 三河豊田駅南側に位置している地域型商店街で、トヨタ自動車本社工場に近接した商店街です。戦後、トヨタ自動車の発展とともに形成され、日常生活に直結した小規模な小売店舗が多く、ピーク時にはみゆき商店街振興組合と御幸本町発展会を合わせると、100 軒くらいの加盟数がありました。御幸本町の人口は 3,542 人、世帯数は 1,798 世帯となっています（資料：豊田市ホームページ ともに平成 21 年 4 月 1 日現在）。

愛知環状鉄道三河豊田駅の乗降客数は増加を続け、平成 19 年度は一日平均 8,160 人となっています。

平成 21 年 4 月現在のみゆき商店街振興組合組合員数は 29 軒となっています。そのうち 10 軒（34%）が物販、11 軒（38%）が飲食・食料品、8 軒（28%）がサービスとなっています。

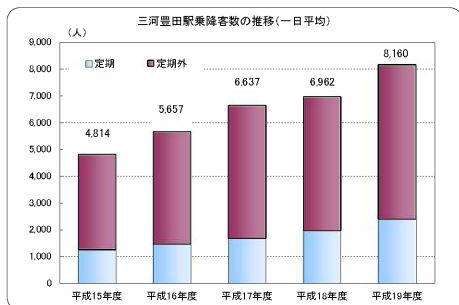
図 振興組合 組合員の分布



表 振興組合 組合員

分類	店舗名	組合員数 (軒)	構成比 (%)
物販	(株)池田事務器	10	34%
	ヤナセ薬局本店		
	板倉商店		
	(有)ヤムショップ カトレヤ		
	(有)豊和事務機		
	山田屋洋服店		
	京屋		
	鈴木たばこ店		
	長谷川茶舗		
	ヘルス・バンク		
飲食・食料品	お食事処まるみや	11	38%
	万里母		
	トヨタ屋食堂本店		
	居酒屋 とら屋		
	豊来飯店		
	喫茶 雅露夢		
	大衆割烹だるま南店		
	サンフレッシュふじむら		
	しばたうどん		
	鳥		
	花母		
サービス	(株)寿恵弘	8	28%
	芦荻歯科医院		
	貸衣装・美容室・写真室		
	丸八		
	中部美顔教室		
	豊岡商事(株)		
	トヨタピスタ		
	東名古屋(株)		
(株)ニッソー 豊田支店			
豊栄運送(株)			
合計		29	100%

図 三河豊田駅 乗降客数の推移（一日平均）



	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
総数	4,814	5,657	6,637	6,962	8,160
定期	1,257	1,457	1,674	1,954	2,398
定期外	3,557	4,200	4,964	5,003	5,762

資料：豊田市統計書平成 19 年版

表 みゆき商店街のあゆみ

年	出来事
昭和 1 2 年	名古屋鉄道挙母線 三河豊田駅開業
昭和 2 0 年	トヨタ自動車工場の発展に伴い、各商店があちこちと集まり町らしくなっていた。 
昭和 2 5 年	トヨタ自動車が大きく活気付いてきて、商店街も都市化へと変わって来た。
昭和 3 2 年	笹原商工会～笹原発展会そしてトヨタ銀座発展会となる。
昭和 3 3 年	自動車をイメージして、トヨタ銀座発展会の商店街に 5 0 基のネオンが点燈。 
昭和 3 4 年	三河豊田駅をトヨタ自動車前駅に改称
昭和 4 3 年	御幸本町発展会となる。 当時の商店街としては、何れも日常生活に直結した小規模小売商店が多かった。 新デザインによるネオン 5 0 基が点燈された。 
昭和 4 8 年	名鉄挙母線廃止
昭和 5 1 年	日本国有鉄道岡多線 三河豊田駅開設
昭和 6 3 年	愛知環状鉄道に移行
平成 6 年	みゆき振興組合を設立
平成 1 0 年頃	振興組合、発展会合わせるとピーク時には加盟数約 100 軒となった

2) みゆき商店街の特徴と課題

表 みゆき商店街の特徴と課題

項目	特徴	課題
トヨタ自動車	○近くにトヨタ自動車本社がある	
駅の乗降客	○三河豊田駅の乗降客が多い。 (一日あたり約 8 千人)	×乗降客が商店街に来ない ×商店街に寄り道してほしい ×三河豊田駅の名前をトヨタ自動車前に戻してほしい
駅前広場	○モニュメントの活用	×駅前ロータリーに魅力が無い ×駅前に駐車場が無い
店舗	○飲食店が比較的多い	×店舗数が少ない ×駅前に店舗が無い ×買回り品が少ない ×後継者がいない ×商店街のまとまりがない ×面白い店舗が少ない
マンション	○マンション建設が進んでいる	×マンション等ができ、人のつながりが少なくなった
地下道・道路	○幹線道路の車の通行が多い ○自転車の通行が多い (中学生、外国人)	×地下道が暗い ×商店街が道路で分断されている ×車で商店街を利用しづらい ×街路灯が老朽化している
集客施設		×集客力が無い ×公共の施設が無い
交流	○人と人とのつながり ○区民と商店街と協力し合ってきたところ (お祭りなど)	×商店街同士の交流が少ない (非加盟店)
キャラクター	○キャラクターがある (みゆきーず)	×キャラクターが活用できていない
その他		×夜に人の流れが少ない ×商店街の賑わいをとりもどしたい

3) みゆき商店街に対する住民、利用者のニーズなど

地域住民及び商店街利用者を対象として、アンケート調査を行いました。

地域住民アンケート実施概要

実施日時：平成20年10月25日～10月30日（木）
 実施方法：各団体の会合に参加しアンケート票を配布。その場で記入、回収を行った。
 回収結果：女性会 22票
 老人会 7票
 厄年会・自主防 16票
 区議員 63票

合計 108票

商店街利用者アンケート実施概要

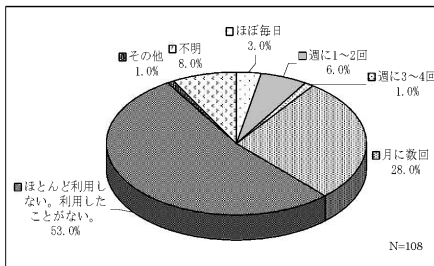
実施日時：平成20年10月29日（水） 10:00～17:00
 実施方法：三河豊田駅ロータリーでコーナーを設置
 トヨタ屋食堂利用者に店内で実施
 回収結果：三河豊田駅利用者 40枚程度
 トヨタ屋食堂 80枚程度

合計 116票

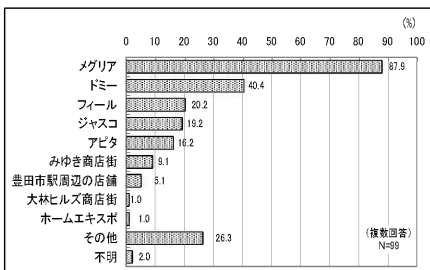
アンケート結果の概要と、結果から得られた主な課題等をまとめると以下の通りです。

○地域住民の利用頻度は低く、食料品や日用品の買い物には近くの大型店を利用している

商店街の利用頻度（住民）



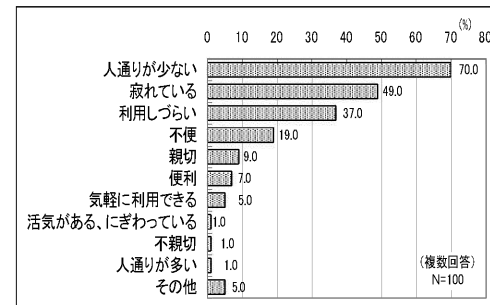
食料品等の買い物場所（住民）



「ほとんど利用しない。利用したことがない」が53.0%となっており、御幸本町周辺の住民がみゆき商店街を利用する頻度は非常に低い状況となっています。普段の買い物は、自動車を利用してメガリアやドミーなどの大型店を利用している方が多くなっています。

○「人通りが少ない」「寂れている」などマイナスイメージが多い

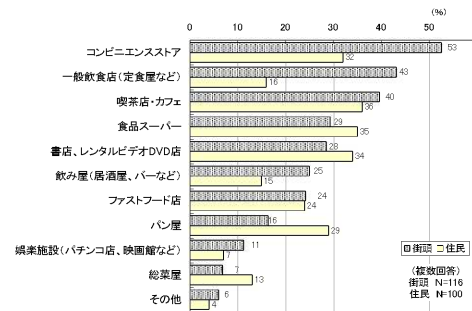
みゆき商店街のイメージ（住民）



みゆき商店街のイメージは「人通りが少ない」70.0%、「寂れている」49.0%などマイナスのイメージが多くなっています。

○利用したい店舗のトップはコンビニ。喫茶店・カフェ、書店のような空き時間をつづせるような店舗のニーズもある。

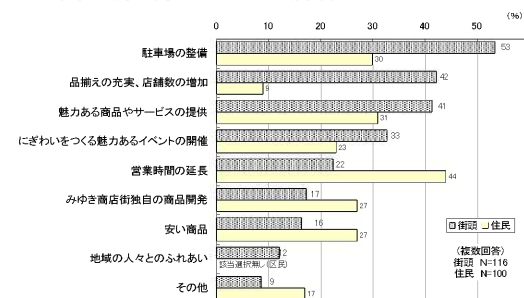
商店街にあると利用したい店舗（街頭・住民）



商店街にあると利用したい店舗のトップは、商店街利用者ではコンビニ、地域住民では喫茶店・カフェとなっています。また、地域住民・商店街利用者ともにカフェや書店など空き時間をつづせるような店舗のニーズが高くなっています。

○住民が商店街に望むのは、営業時間の延長など利便性の向上に関すること。利用者が望むのは駐車場の整備。

みゆき商店街に望むこと（街頭・住民）



地域住民が商店街に望むこととしては、営業時間の延長など商店街の利便性向上に関するものが多くなっています。また、商店街利用者は駐車場の整備が最も多くなっています。

4) みゆき商店街の主な課題

商店街による特徴と課題の分類及びアンケート結果から得られた課題をまとめると、以下のようになります。

○愛知環状鉄道 三河豊田駅が近くにあるものの、乗降客を商店街まで呼び込めていない。

三河豊田駅の利用者は一日あたり約8千人おり、非常に大きな集客力を持っています。その大半が徒歩利用者であるにもかかわらず、駅と勤め先等との移動のみで、商店街まで人を呼び込めていません。駅利用者を商店街へ呼び込む仕掛けの工夫さらには、出勤前や勤務後に利用してもらえる業種など、ニーズを的確に把握し、ニーズに合った商品やサービスを提供することが求められます。

- ◆駅利用者を商店街へ呼び込む仕組みづくりが必要
- ◆ニーズに合った商品やサービスの提供

○認知度、利用度ともに低く、商店街に対するイメージも良くない

商店街の認知度、利用度ともに低く、商店街に対するイメージも良くないことから、まずはPR活動を強化し、みゆき商店街を知ってもらうことから始める必要があります。

- ◆商店街に足を運んでもらうきっかけづくり
- ◆商店街のPR活動

○店舗数も少なく、商店街のまとまりがない

駅前に店舗がなく、店舗数も少なく、空き店舗が多いことに加え、幹線道路で商店街が分断されていることから、商店街としてのまとまりが感じられなくなっています。

- ◆商店の集積、空き店舗の解消
- ◆商店街のまとまりの演出

○店舗そのものの魅力が乏しい

一部の店舗では建て替えなど新しい動きが見られますが、建物や商品の更新が進んでおらず、周辺住民の買い物行動やニーズとの乖離が見られ、店舗そのものの魅力が弱くなっています。

- ◆新規業種や店舗の導入
- ◆営業時間、取扱商品などの見直し

2. 活性化の基本方針及び具体的事業

“チョットよりみち みゆき商店街”

【みゆき商店街活性化に向けたコンセプト】

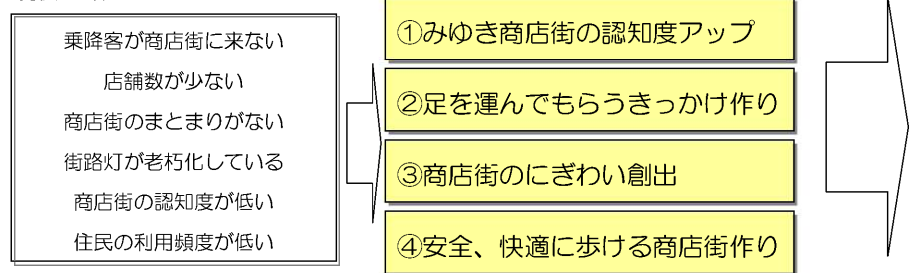
トヨタ自動車本社工場や、愛知環状鉄道 三河豊田駅が近くにあるという利点を活かして、従業員や駅利用者によりみち感覚で少しの時間でも気軽に利用してもらえる商店街を目指します。

また、地域の住民にも気軽に足を運んでもらいたいという思いも込めて

“チョットよりみち みゆき商店街”



というキャッチフレーズをつくりました。

現状と課題


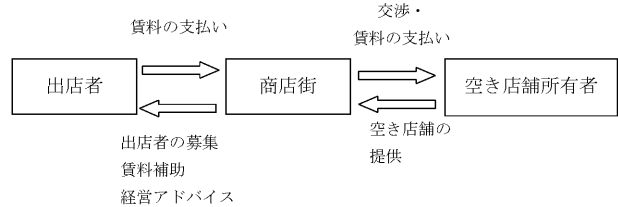


①～④の4つを基本目標として、今後具体的に取り組んでいく事業として次の4つを計画しています。



事業計画1 トヨタ自動車前みゆき屋台村

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ トヨタ自動車の社員を地域ぐるみで温かく盛り上げ、みゆき商店街を知ってもらう。 ○ 三河豊田駅利用者にみゆき商店街に足を運びきっかけをもってもらおう。 ○ 地域住民にみゆき商店街に足を運びきっかけをもってもらおう。 ○ 普段交流することの少ない地域の団体同士の交流の場とする。 		
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ○ トヨタ自動車の社員 ○ 三河豊田駅利用者 ○ 地域住民 ○ 地域の団体 		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街の通りに屋台村を設け 30 分でも寄り道してもらう ○ 商店街の駐車場で開催 ○ 夕方5時～8時くらい ○ 店の種類はラーメン、焼き鳥、おでんなど ○ 季節の売り出しなどにあわせて開催 ○ 個店のPRを行い、次回商店街の個店への来客につなげる活動を行う 		
実施体制・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街が中心となり屋台村の企画・運営を行う。 ○ 自治区、女性会、老人会など地域の団体と協力しながら進める。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年 1 月 16 日に実験的に実施しました。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">  </div> </div>		
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋台村の集客数 年間(平成 21 年度 1200 人程度、平成 22 年度 1600 人程度、平成 23 年度 2400 人程度) 		
事業プログラム	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
	屋台村事業計画の作成	—	—
	屋台村の実施(年 3 回)	屋台村の実施(年 4 回)	屋台村の実施(年 6 回)


事業計画2 みゆき商店街チャレンジショップ

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 寄り道したくなるような商店街づくりの一環として、シャッターが閉まったままの空き店舗を利用してもらう、少しでも商店街に賑わいをもたらしてもらう。 		
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ○ 起業したいと考えている方(出店者) ○ 地域住民及び三河豊田駅前利用者 		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き店舗にチャレンジショップのようなかたちで入ってもらう。 ○ 商店街が空き店舗所有者との間に入り、賃料などの補助を行う。 ○ 屋台村での出店から始め、チャレンジショップでの出店につなげるなど、屋台村と連携する。 ○ 飲食・物販に限らず、空き店舗の立地によってはサービス提供やサロンのようなものも考えられる。 		
実施体制・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街が空き店舗を調査し、所有者に事業概要を説明・交渉し、出店者を募る。 ○ 出店者に対して経営面等アドバイスを行う。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街が運営するための仕組みづくりが必要 ○ 豊田市の補助制度を活用 		
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空き店舗数を年間1軒減少させる 		
事業プログラム	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
	空き店舗の調査・交渉	—	—
	チャレンジショップ事業計画の作成	—	—
	—	出店者の募集・選定	—
	—	店舗の改装	—
—	—	—	チャレンジショップの開店・経営・運営支援

事業計画3 みゆき商店街歩行者空間整備事業

事業の目的	○ 寄り道することが楽しくなるように、商店街を安全、快適に歩きやすい空間に整備する。		
ターゲット	○ 地域住民及び三河豊田駅前利用者		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化した街路灯の更新  <ul style="list-style-type: none"> ○ フラワーポットの設置など、商店街周辺の緑化活動 ○ 自治区と連携した美化活動 ○ フラッグの付け替えや更新 ○ キャラクター「みゆきーず」のモニュメントの有効活用 ○ その他商店街の一体性の演出 		
実施体制・役割分担	○ 街路灯整備は、まちづくり実行委員会において、自治区や地域の団体の意見を聞きながら進め、商店街・行政と協働で整備する。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店街のまち並み景観の整備も今後の検討課題 ○ 街路灯の設置場所・範囲の検討 ○ 地下道を安全に利用できるよう改善する ○ 長期的には駅利用者・商店街利用者向けの時間貸し駐車場整備も必要 		
成果指標	○ 地域住民が商店街を月に1回以上利用する割合を50%以上にする		
事業プログラム	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	街路灯整備に向けた自治区との協議	事業計画	街路灯の設置
緑化美化活動の継続実施			

事業計画4 サマーセール・歳末売り出し

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民にみゆき商店街を知ってもらう ○ 地域住民にみゆき商店街に足を運びきっかけをもってもらう。 		
ターゲット	○ 地域住民及び三河豊田駅前利用者		
事業内容	サマーセール <ul style="list-style-type: none"> ○ 8月に実施（平成21年度は8月1～2日）  <p>納涼祭りにあわせ、餅つき、青空市、踊りなどのイベントを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サービス券による売り出しセール（約1週間） ○ 屋台村の開催 	歳末売り出し・イルミネーション <ul style="list-style-type: none"> ○ 12月に実施 ○ サービス券による売り出しセール（約1週間） ○ 屋台村の開催 ○ イルミネーションの実施 	
実施体制・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治区や老人クラブ、女性会が中心となって、まちづくり実行委員会を立ち上げ、イベントを開催する。 ○ 商店街は実行委員会に協力をし、イベントでは商店街のアピールを行う。 	○ 商店街が中心となって、自治区等地域の団体と協力しながら開催する。	
成果指標	○ サービス券の利用による売上げ10%アップを目指す		
事業プログラム	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	サマーセールの継続実施 歳末売り出し・イルミネーションの継続実施		

3. 事業プログラム及び成果指標

3年間の事業プログラム

事業名	事業内容	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
①みゆき屋台村	屋台村の事業計画の作成	●		
	屋台村の開催	●	→ 継続実施	
②チャレンジショップ	空き店舗の調査、交渉	●		
	チャレンジショップ事業計画の作成	●		
	出店者の募集・選定		●	
	店舗の改装		●	
	チャレンジショップの開店・経営			●
③歩行者空間整備	街路灯整備	● 自治区と協議	● 事業計画	● 設置
	緑化・美化活動	●	→ 継続実施	
④サマーセール・歳末売り出し	サマーセール	→ 継続実施		
	歳末売り出し	→ 継続実施		
	イルミネーション	→ 継続実施		
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗の数（年間1軒減） ・ 屋台村の集客数 年間人数（平成21年度 1200人程度、平成22年度 1600人程度、平成23年度 2400人程度） ・ 振興組合の組合員数 （最低限現状維持、1,2店舗増） 			

年間プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間プログラム	屋台村 ※平成22年度より		屋台村 ※平成23年度より		屋台村※平成21年度より	サマーセール		屋台村 ※平成21年度より	屋台村平成21年度より イルミネーション	歳末売り出し		屋台村 ※平成23年度より

4. 推進体制

納涼祭りの際御幸本町自治区が中心となって立ち上げるまちづくり実行委員会を母体として発展させ、納涼祭りでのイベントの企画・運営や、街路空間整備事業をはじめとする、御幸本町のまちづくり全般について話し合い、実行します。

商店街は構成員として参加し、イベント等では商店街のPRなどを行うとともに、まちづくりの一翼を担う存在として地域に貢献することを目標とします。

屋台村、サマーセール、歳末売り出しなど商店街が主催する事業においても、各団体の協力を仰ぎながら一体的に事業を進めていきます。

図 推進体制

